

# 令和2年度事業計画書

自 令和2年 4月 1日  
至 令和3年 3月31日

## I 公益目的事業

### 1 研究事業

事業名	事業の内容
関門航路早瀬瀬戸付近海域における船舶航行安全調査研究(その2)	<p>海事関係者から追越し禁止海域前後での船舶の渋滞が慢性化し、同海域通航に時間を要し経済活動に支障がでる場合もあるとの指摘もあることから、平成29年度同海域での調査研究を実施することにより、同海域での海難の減少と経済活動に支障がない新たな安全対策を提言した。</p> <p>一方、平成29年度の船舶航行安全調査研究委員会において、東流の流速低下傾向期における西航33番灯浮標付近海域の渋滞状況の改善を図るためには、同年度の調査研究をベースとし、AIS未搭載船の影響確認、同結果を踏まえた船間距離及び航行ルートなどの詳細検討が必要であるとの結論から令和元年度、当協会においてAIS未搭載船の航行状況及び影響を定点カメラにより確認し、令和2年度事業において船間距離についての分析及び航行ルートの検討を行い関門早瀬瀬戸付近海域における渋滞状況の改善を提言する。</p>

### 2 調査事業

事業名	事業の内容
1. 港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾計画の改訂に伴う船舶交通についての諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
2. 港湾工事に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾工事に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
3. 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

### 3 情報提供事業

事業名	事業の内容
1. 航行安全支援業務	<p>海上工事に関し、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに情報提供する。</p> <p>更に、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する等航行安全支援業務を実施する。</p>
2. 海難防止強調運動の実施	全国海難防止強調運動における運動方針を受け西日本、南九州、沖縄地区の推進連絡会議を開催し、推進方法を企画、策定し、実施する。

3. 海難防止啓蒙活動	海難防止啓蒙ポスター及び海難防止関連グッズを作成して啓蒙活動を支援する。
4. 講習会	① 西海防セミナー 年2回（北九州市、福岡市）、海難防止に関する講演を実施し、海難防止に関する啓発を行う。 ② 安全講習会 海上工事作業従事者に対し、海域の特性等を勘案した講習会を実施する。
5. 広報活動	① 会報の刊行 年4回、調査研究の成果等を取りまとめ「公益社団法人西部海難防止協会会報」として会員及び関係者に配布する。 ② ホームページの活用 海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発して、海難防止に資する。 ③ 海事広報展示館での周知宣伝 海難防止啓発活動の発信拠点である海事広報展示館は、平成23年4月に北九州市門司港の旧JR九州本社ビル（北九州市所有）に開館し運営してきたところであるが、今般、同ビルの改修計画があることから、別地での開館を計画し海難防止啓発活動を実施する。

## II 収益目的事業

### 調査事業

事業名	事業の内容
1. 特定船舶の入港に係る解析調査	船舶の入港に関し委員会報告書に基づく入港基準と航跡を解析調査する。
2. 特定洋上風力に係る船舶航行安全対策調査研究	洋上風力設置に伴う適地エリア、工事中等の船舶航行安全対策を調査研究する。